

平成 30 年度第 1 回 静岡市障害者自立支援協議会会議録

第 1 日 時 平成 30 年 7 月 25 日（水） 10 時～12 時

第 2 場 所 静岡市役所 本館 3 階 第一委員会室

第 3 出席者

(委員) 渡邊英勝委員（会長）、中村章次委員（副会長）、飯塚友紀委員、  
畠山直史委員、平野真子委員、檜垣智郎委員、遠藤智一委員、  
斉藤菜穂子委員、浅野一恵委員、池田隆寿委員、中村文久委員、  
岡庭隆門委員、大野富美子委員、原田まゆみ委員

(事務局) 丸岡保健福祉長寿局次長兼健康福祉部長、萩原障害者福祉課長、  
竹田障害者福祉課長補佐、遠藤障害者福祉課自立支援係長、  
望月障害者福祉課地域生活支援係長、  
福本障害者福祉課在宅支援係長、藪障害者福祉課主任主事  
海野地域リハビリテーション推進センター所長、  
萩原児童相談所長補佐（代理出席）、鈴木保健衛生医療部長  
松本保健衛生医療部理事（こころの健康センター所長事務取扱）、  
松田こころの健康センター事務長、  
田口こころの健康センター地域生活支援係長  
安藤精神保健福祉課長、野仲精神保健福祉課長補佐、  
前林精神保健福祉課相談支援係長、上田精神保健福祉課主任主事、  
甲藤商業労政課主査（代理出席）、  
戸塚葵福祉事務所障害者支援課長、  
吉永駿河福祉事務所障害者支援課長、  
望月清水福祉事務所障害者支援課長、  
渡邊特別支援教育センター所長

第 4 傍聴者 3 人

第 5 次 第

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 題

- (1) 静岡市障がい者共生のまちづくり計画について
- (2) 専門部会の設置及び組織・運営について
  - ① （仮称）相談支援部会の設置及び組織・運営について
  - ② 子ども部会の組織・運営について
- (3) 地域生活支援拠点等について
  - ① 地域生活支援ネットワークについて
  - ② 静岡市面的整備型地域生活支援拠点

中長期計画案について

③ 地域生活支援部会の組織・運営について

(4) 専門部会の活動実績及び平成 30 年度活動案について

(5) 各区の活動実績及び平成 30 年度活動案について

4 報 告

5 閉 会

第 6 会議内容

次第 3 議題

(1) 静岡市障がい者共生のまちづくり計画について

【障害者福祉課 竹田課長補佐から説明】

渡邊会長 ただいまの説明について、ご意見・ご質問がございましたら、ご発言をお願い致します。

中村文久委員 静岡市障がい者共生のまちづくり計画に示されている計画の数値は、「今後検討が必要な個別課題」の検討を通じて、変更になることはあるのでしょうか。また、仮に変更になることがある場合、その周知はどのように行うのでしょうか。

事務局（竹田課長補佐） 計画の冊子の記載内容自体を変更することはありません。ただし、検討を踏まえ数値の変更をする必要があると判断したときには、あらためて静岡市障害者自立支援協議会や静岡市障害者施策推進協議会等で意見をお伺いしたうえで、変更について周知をしていこうと考えています。

(2) 専門部会の設置及び組織・運営について

① (仮称) 相談支援部会の設置及び組織・運営について

【飯塚委員から説明】

【障害者福祉課 遠藤係長から説明】

渡邊会長 ただいまの説明について、ご意見・ご質問がございましたら、ご発言をお願い致します。

遠藤委員 昨年从这个協議会に参加して、相談支援の課題について話をさせていただいているが、状況はあまり変わっていないと感じています。

計画相談支援事業所は、基幹相談支援センターや委託相談支援事業所等の縦のつながりでお困りの方に対応することはあるが、計画相談支援事業所同士の横のつながりで共同し何かをするという機会が少ないです。この相談支援部会で、計画相談支援事業所がかかえる諸課題について共有し、解決に向けて検討することが重要で不可欠なもの

だと思っているので、非常に期待しています。計画の目標達成に向けて取り組むということもありますし、資料に記載の諸課題についても一つ一つ解決していきたいです。

また、計画相談支援事業所の質の向上も大切です。今年の報酬改定で加算がついた、モニタリングの回数が増えたというのは、事業所の運営のことも考えていただいていると思うが、利用者の方とたくさん顔を合わせるようになり、情報収集の機会も増え、当然それが質の向上にもつながると思います。国が質の向上を期待しているということは事業所としても重く受け止めていますし、この加算を活用することにより、3年後の報酬改定にもつながっていくと意識をしてやっていかなければならないと感じています。

そういった諸々の課題について、各事業所、各担当が共有するための部会ができることはありがたいと思いますので、実りのある審議をしていきたいです。

畠山委員 部会の設置については以前から言われていたことで、私が覚えている範囲では、平成28年に中村文久委員が準備を進めていたことは存じておりました。しかし、担当の方が変わり、また制度が大きく変化したことにより、ついていくのに精いっぱいであったという印象がここ2～3年あります。

部会を立ち上げて今後どうしていくかということですが、もちろん相談支援員の確保に向けて方策を検討する必要がありますし、相談員から見えてくる課題を整理する場でもあってほしいと思います。

中村文久委員 ようやくここまで来たなという感じです。相談支援専門員が有志で集まって勉強会も実施していたが、そこでお互いに愚痴を言ってもしょうがないと思っていました。こういった正式な場で、相談支援専門員として相談支援をどういう風にやっていこうかということについて、積極的に意見交換をしていく場としたいです。課題も見えているので、課題解決に向けて皆さんと共によりよいものにしていきたいと思っています。

渡邊会長 ご意見ありがとうございました。

部会の組織及び運営については、協議会に諮って決めることとなっておりますので、設置の可否及び組織・運営方法について皆様にお諮りしたいと思います。

飯塚委員ほか5名の委員から連名で提案のあった「相談支援部会」について、新たに設置し、共生のまちづくり計画の今後検討が必要な個別課題のうち、「計画相談支援・障害児相談支援の充実」についても検討していくということによろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

渡邊会長 ご異議ないようですので、「相談支援部会」を設置することとします。今後の協議・検討をよろしくお願いいたします。

## ② 子ども部会の組織・運営について

【浅野委員から説明】

【障害者福祉課 竹田課長補佐から説明】

渡邊会長 ただいまの説明について、ご意見・ご質問がございましたら、ご発言をお願い致します。

中村文久委員 質問ですが、医療的ケア児支援地域協議会と子ども部会の関係性はどうなるのでしょうか。

事務局（竹田課長補佐） 医療的ケア児支援地域協議会の設置に向けた協議は子ども部会の中のプロジェクトで実施しますが、設置するときには静岡市障害者自立支援協議会とは独立した形で設置いたします。

浅野委員 補足ですが、国では医療的ケア「児」のみを対象としています。静岡市が設置する協議の場は医療的ケア児「等」支援地域協議会として、乳幼児期・学齢期の課題に限らず大人になっていく医療的ケア児の課題や、重心児の課題についても協議する場としたいと思っています。

中村章次委員 部会は新たに設置するものですが、子どもに関する課題自体は以前からずっとあったものです。しかし、現状では課題解決に向けて進んでいかないので、危機感を持って課題の整理を進める場が必要であると感じていました。特に医ケア児の問題については、実態をしっかりと把握し、そこにどんなニーズがあるのかについて、委員の皆様と共有しながら考えていくことが非常に重要であるとえています。現在ある社会資源を踏まえ、つつこんだ議論をしないと進んでいかななと思っています。私が所属している静岡手をつなぐ育成会でも医療的なケアを伴う児童の一時預かりをする事業を実施していますが、利用者の親御さんももちろん大変ですし、お子さんも体が弱く安定して通うことができないといった問題があると、事業運営も安定してできないといった事態に陥ってしまいます。そういった事業運営のことなども含めて皆さんと意見交換をしていきたいと思っています。

平野委員 部会の目的欄に発達障がいのある児童の課題についても協議すると記載されていますが、私が所属するは一とばるで相談支援を実施している中で大人の発達障害が多いと感じています。発達障害は幼児期や学齢期のときから適切な支援やフォローがあれば、大人になってからも生活しやすい環境が整いやすいかと思しますので、障害福祉の分野の中でも重要な部会になるかと思えます。

渡邊会長 ご意見ありがとうございました。

それでは、部会の組織・運営について委員の皆様にお諮りします。

ただいま提案のあった内容で今後部会やプロジェクトを運営していくということによろしいでしょうか。

委員一同 異議なし  
渡邊会長 ご異議ないようですので、ご提案のあった内容で今後部会を開催することとします。今後の協議・検討をよろしくお願いいたします。

### (3) 地域生活支援拠点等について

#### ① 地域生活支援ネットワークについて

【障害者福祉課 竹田課長補佐から説明】

#### ② 静岡市面的整備型地域生活支援拠点 中長期計画案について

【檜垣委員から説明】

渡邊会長 ただいまの説明について、ご意見・ご質問・補足等がございましたら、ご発言をお願い致します。

岡庭委員 この後の部会の報告のときにもお話しますが、精神障害分野の中では地域移行が大きな課題となっています。家族が高齢になったときなど、障害分野だけでは解決できない問題が出てくるため、他分野との連携も重要です。地域生活について検討する場が非常に重要であると感じています。

原田委員 質問ですが、今回の報告では、地域生活支援ネットワーク会議を地域生活支援部会として開催していくとのことでしたが、地域生活支援拠点プロジェクトは解散するということによいのでしょうか。

渡邊会長 次の議題でも説明がありますが、今までプロジェクトで検討した計画を進めるために検討の場を部会に戻すという考え方になるかと思えます。プロジェクトチームは終了します。

ほかにご意見・ご質問はございませんでしょうか。

それでは、ただいまプロジェクトメンバーからご説明いただいた中長期計画に基づき拠点事業を推進していくということによいでしょうか。

委員一同 異議なし

渡邊会長 それではこの計画に基づき事業を推進してまいりたいと思います。

#### ③ 地域生活支援部会の組織・運営について

【静岡市障害者相談支援推進センター 堀越氏から説明】

渡邊会長 ただいまの説明について、ご意見・ご質問がございましたら、ご発言をお願い致します。

浅野委員 拠点事業には非常に期待しています。

質問ですが、医療的ケア児の短期入所の問題については、この部会やネットワークで検討するのか、先ほどの医療的ケア児支援協議会と連携しながらやっていくのか、どうなるのでしょうか。

事務局（竹田課長補佐） 事業者同士の連携については部会やネットワークで検討していきますが、医療的ケア児の個々の課題については医療的ケア児支援協議会でまず協議し、検討した結果を共有し連携していこうと考えています。

浅野委員 医療的ケア児を対象とした事業所の情報もこのネットワークで集めるのでしょうか。

事務局（竹田課長補佐） 医療的ケア児を対象としている事業所の情報についてもネットワークで収集しますが、専門的な問題についてはまず協議会で検討していただこうと思っています。

渡邊会長 ご意見ありがとうございました。

それでは、部会の組織・運営について委員の皆様にお諮りします。

先ほど説明のあった中長期計画に基づき地域の体制づくりに向けて検討を継続するため、また、共生のまちづくり計画の今後検討が必要な個別課題のうち、短期入所事業所の充実についても検討するため、地域生活支援部会本部会を開催していくということによろしいでしょうか。

委員一同 異議なし

渡邊会長 ご異議ないようですので、ご提案のあった内容で今後部会を開催することとします。今後の協議・検討をよろしくお願いいたします。

#### (4) 専門部会の活動実績及び平成30年度活動案について

##### 【各部部长、座長、事務局から説明】

渡邊会長 ただいまの説明について、ご意見・ご質問・補足等がございましたら、ご発言をお願い致します。

大野委員 就労支援部会に参加しています。今年4月から障害者法定雇用率を2.0%から2.2%へ増加する法改正がありました。法改正前に採用できているのが理想ですが、実際には4月以降も雇用が足りない、または「0人雇用」と言われている企業が多くあります。そんな状況のなか、就労移行支援事業所の存在を知らない企業もたくさんございますので、今週金曜日に開催する「就フェス」により、企業と就労移行支援事業所をつなげ、就職や就労定着に結び付けるきっかけになればよいなと思っています。

池田委員 就労支援部会に関する補足です。ただいま説明にありましたように、企業と就労移行支援事業所をつなげることを目的に「就フェス」を企

画しております。この事業の広報には、ハローワークさん、育成会さん、特別支援学校さんが協力してくれており、企業や関係機関への周知を実施してくれています。チラシや就労移行支援事業所マップの作成も部会員や有志で行われているのが現状です。会場についても利用料がかからない会場を借りざるをえない状況が続いています。市の担当者から「就フェス」やマップの中身に対して効果がありそうなアドバイスもいただいておりますが、一方予算がない中で作成をしている現状があります。ゆうやけ相談会も回数を重ねる中で、そういった部分が発展や継続していく上での課題になるかと思えます。昨年度も市の担当者に問い合わせたところ、予算案を作成するときには事業の成果を求めると回答があったので、成果の具体的な目標値を掲げていただくことで部会の活動も活発になろうかと思うので、その点について検討していただきたいと思えます。

齊藤委員 今年度から地域移行支援部会に参加しています。介護福祉士会は一人一人が任意で加入している団体であり、私もその一会員として活動しておりますので、何百名もいる介護福祉士の意見の取りまとめをする窓口を担えるよう活動しているのですが、その大勢の介護福祉士の意見をまとめるのはなかなか難しいと感じています。少しずつ、一人二人と協力したいという方も出てきているので、その仲間たちと活動をしていけたらいいなと思っています。

中村文久委員 質問ですが、今年度から、介護保険の事業所が障害分野へ参入しやすくする、また障害分野の事業所が介護保険の事業所に参入しやすくする「共生型」という制度が始まっていますが、既に実績はあるのでしょうか。

事務局（遠藤係長） 手元に資料がないため後日回答いたします。

（協議会後に確認したところ、まだ実績はなかった）

遠藤委員 強度行動障がい者支援施設サポートプロジェクトに関する補足です。現在、宍原荘とわらしな学園の2つの入所施設へコンサルに来ていただいています。地域の通所施設にもアドバイザーを派遣していただいています。

この事業を立ち上げるためには構想から約2年かかっています。今から4年前の平成26年度に「地域課題検討プロジェクト」を立ち上げました。初年度は、地域の実態把握と啓発活動とを目的に、地域の143の福祉事業所に行動障がいのある利用者がいるかアンケートを実施し、年度の後半には、専門の先生を呼んで講演会を開催して、そこでもアンケートも実施し、地域の方がどのような悩みを抱えているのか調べさせていただきました。

1年空いて平成28年度からアドバイザー派遣事業が始まりましたが、当初は基金の活用ができておらず、入所施設への派遣について予算取りができていなかったため、最初の1年は宍原荘の自前で実施し

ました。今年3年目を迎えて、職員もかなり意識が高まっておりまして、今年度は国の強度行動障害の指導者向けの研修に宍原荘の職員が1名参加させていただいて、今年度から県の強度行動障害者の支援者向けの研修の講師もお手伝いを始めました。

この事業は実際に実を結んでいる、かなりいい状態で進んでいると実感していますので、ぜひこのまま意識の高い状態を維持していただいで、より多くの事業所が参加していただけるように啓発活動等をしていただけたらなと思います。

渡邊会長      ありがとうございました。

それでは、ただいまそれぞれご説明をいただきましたように、部会やプロジェクトを今年度は運営していくということによろしいでしょうか。

委員一同      異議なし

渡邊会長      それではそれぞれの部会・プロジェクトで今後の協議・検討をよろしくお願いいたします。

(5) 各区の活動実績及び平成30年度活動案について

【意見なし】

次第4 報告

(1) 平成29年度 障害者等相談支援事業について

(2) 平成29年度 障がい者虐待防止対策支援事業について

(3) 発達障害者支援関連事業について

(4) 静岡市支援センターみらいの開設について

【事務局からまとめて説明】

【意見なし】

次第5 閉会